

中央港区

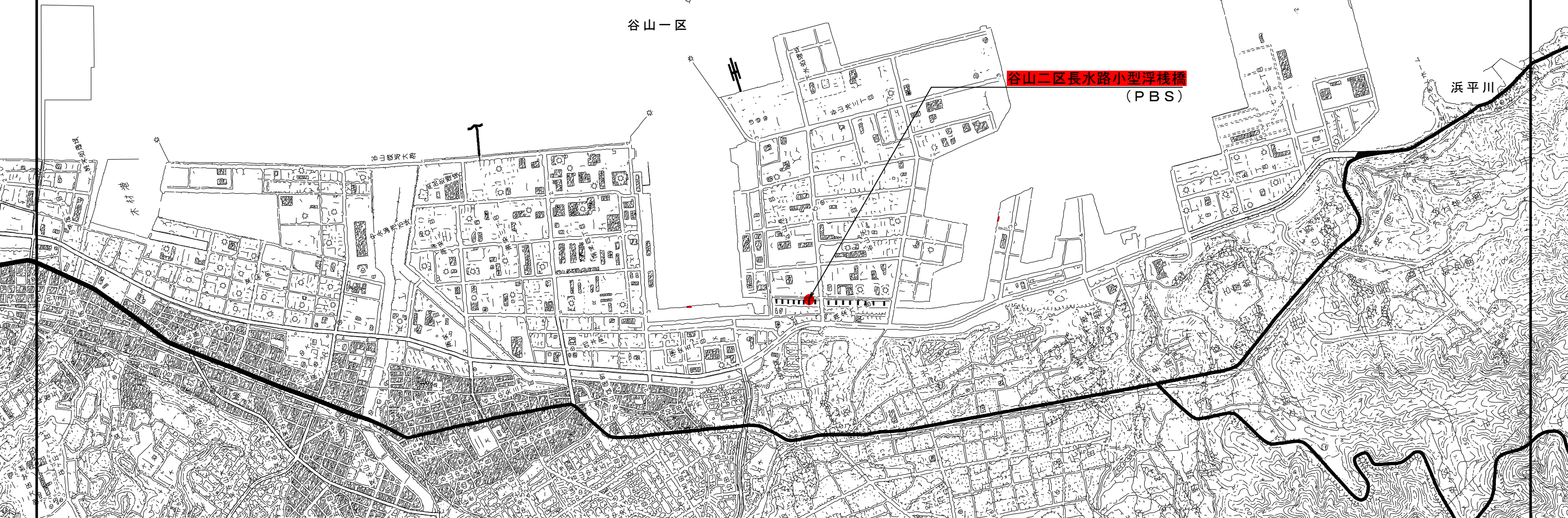
谷山一区

谷山二区

浜平川港区

浜平川

谷山二区長水路小型浮棧橋 (PBS)



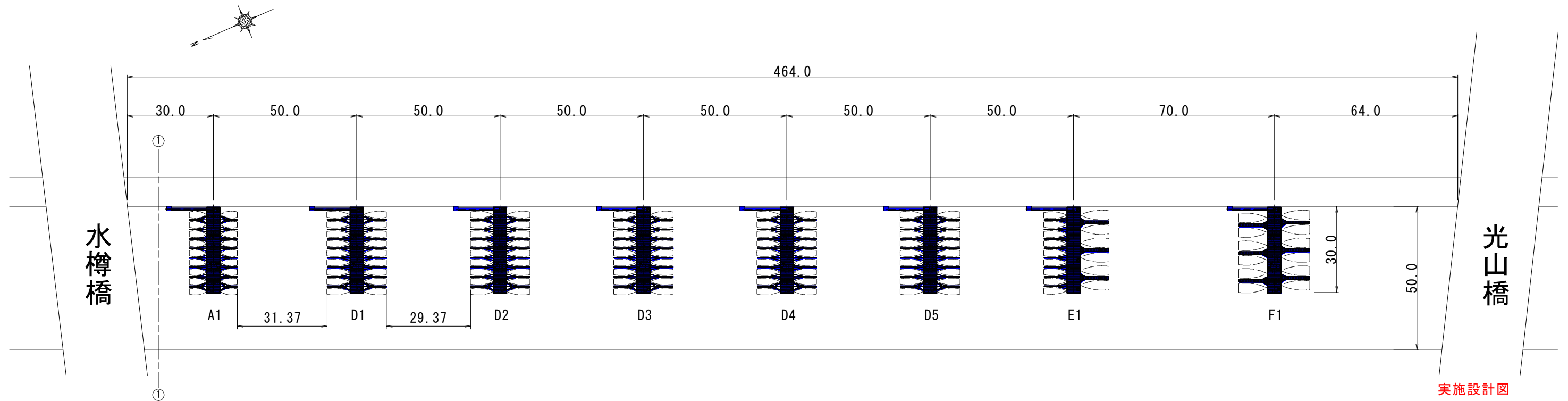
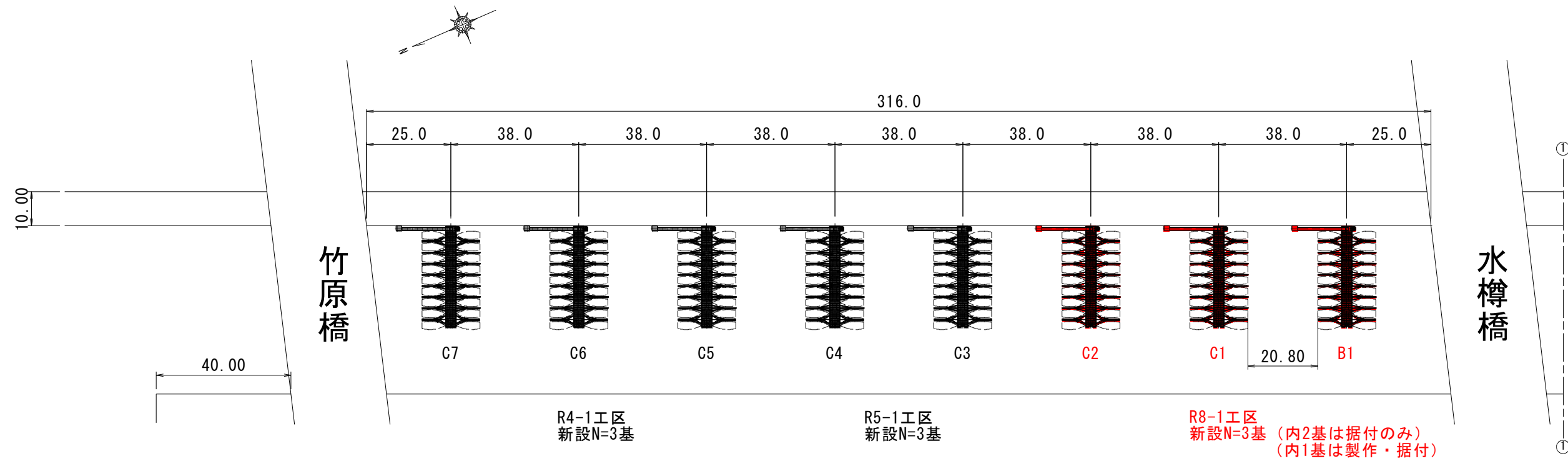
実施設計図

鹿兒島県

工事名	鹿兒島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿兒島港(谷山二区)
工事箇所	鹿兒島市谷山港一丁目地内
図面種類	位置図
縮尺	図示
図面番号	全 17 葉 第 1 号

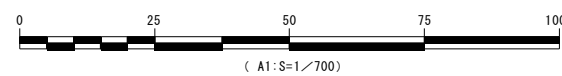
浮棧橋配置図（改修後）

(A1 : S=1/700 , A3 : S=1/1,400)



実施設計図

鹿児島県	
工事名	鹿児島港（谷山二区）改修工事（R8-1工区）
港湾名	鹿児島港（谷山二区）
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	浮棧橋配置図（改修後）
縮尺	図示
図面番号	全 17 葉 第 2 号



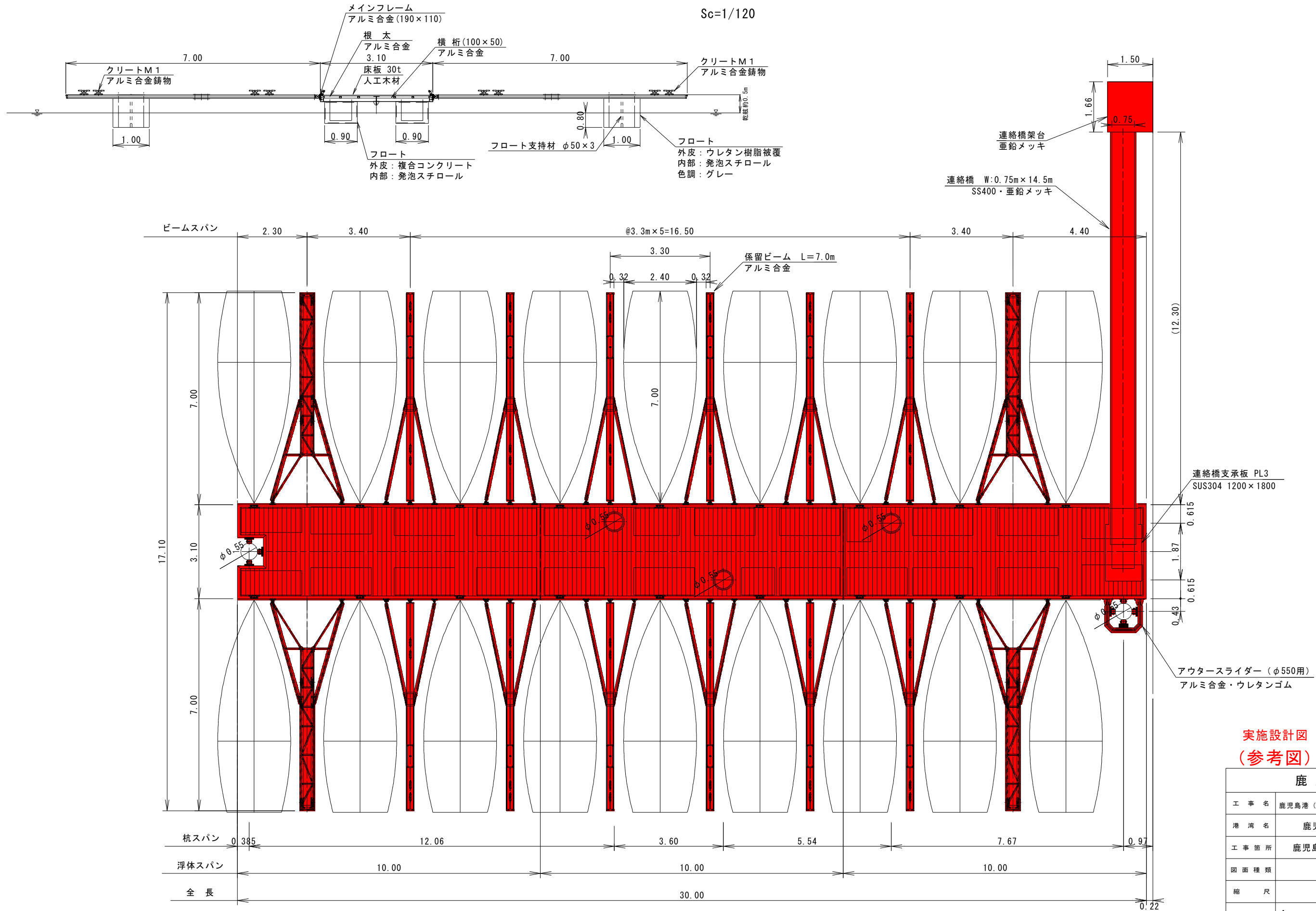
施設全体図

浮棧橋 C3~C1, B1 バース

Sc=1/120

断面図 (A-A')

S=1/100



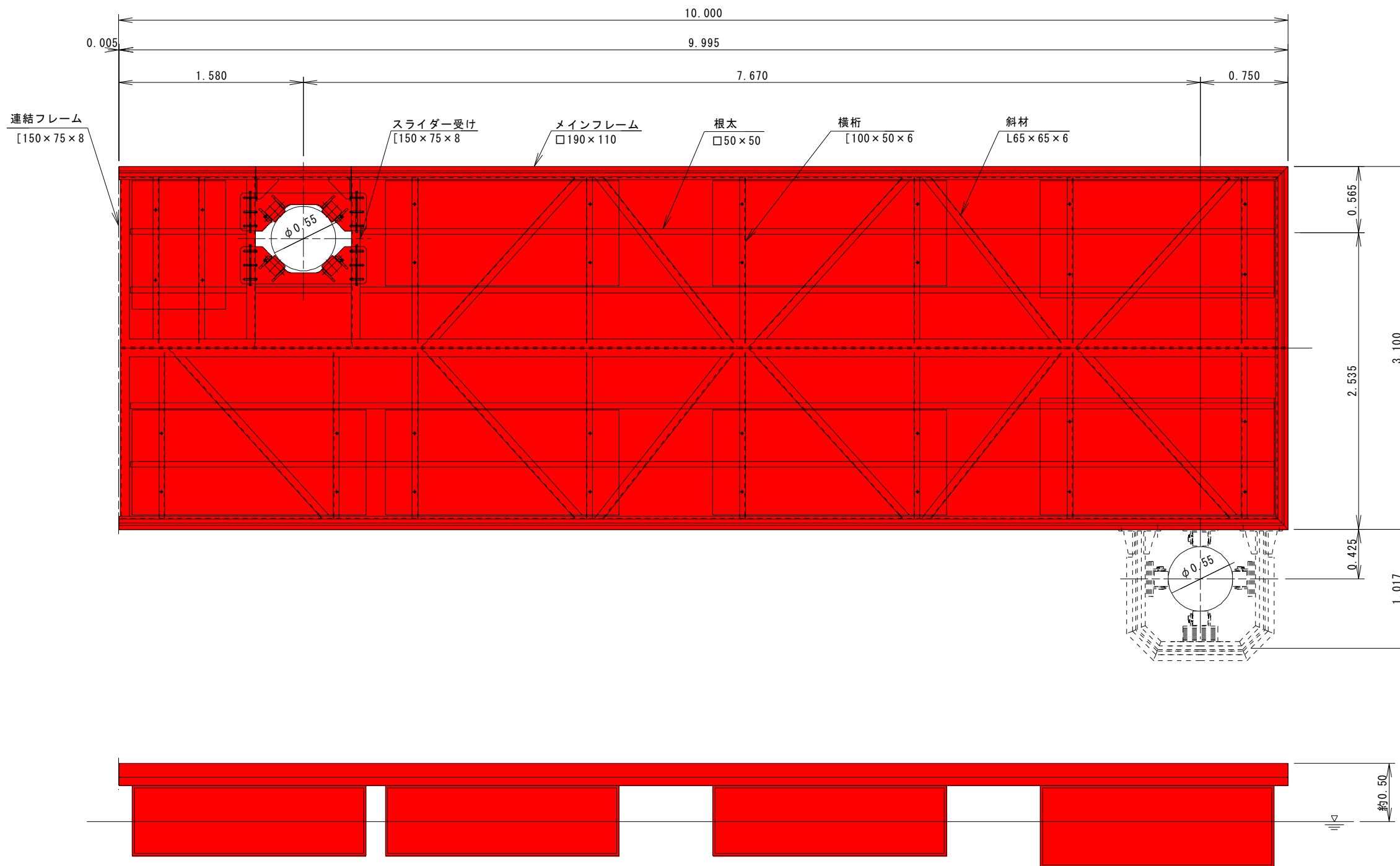
実施設計図
(参考図)

鹿児島県	
工事名	鹿児島港 (谷山二区) 改修工事 (R8-1工区)
港湾名	鹿児島港 (谷山二区)
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	施設全体図
縮尺	図示 (A3印刷時)
図面番号	全 17 葉 第 3 号

主栈橋（連絡橋側）フレーム図 1/3

浮栈橋 C3~C1, B1 パース

Sc=1/40



実施設計図
(参考図)

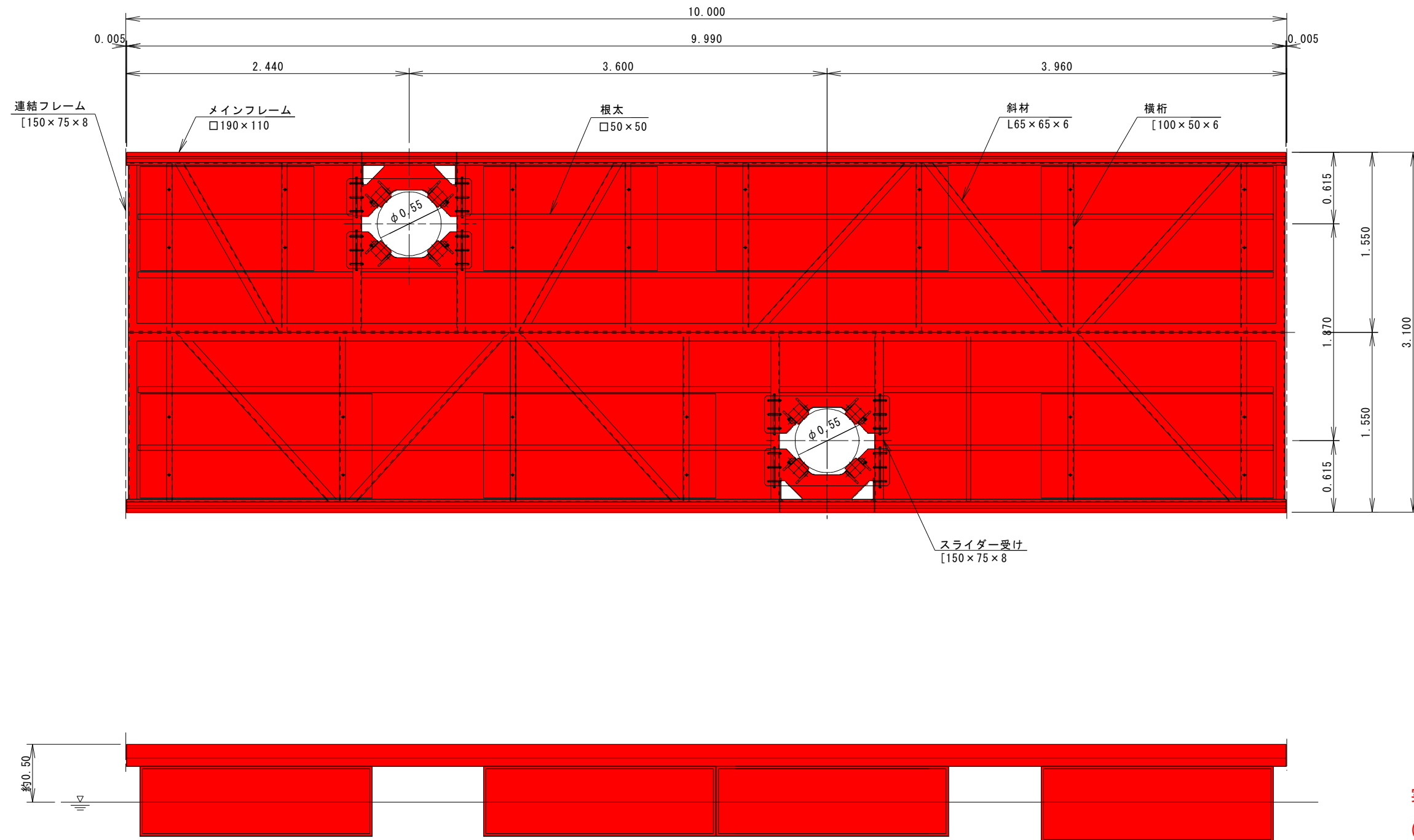
鹿児島県	
工事名	鹿児島港（谷山二区）改修工事（R8-1工区）
港湾名	鹿児島港（谷山二区）
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	主栈橋（連絡橋側）フレーム図 1/3
縮尺	図示（A3印刷時）
図面番号	全 17 葉 第 4 号

※特記事項
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

主栈橋（中間部）フレーム図 2/3

浮栈橋 C3~C1, B1 バース

Sc=1/40



実施設計図

(参考図)

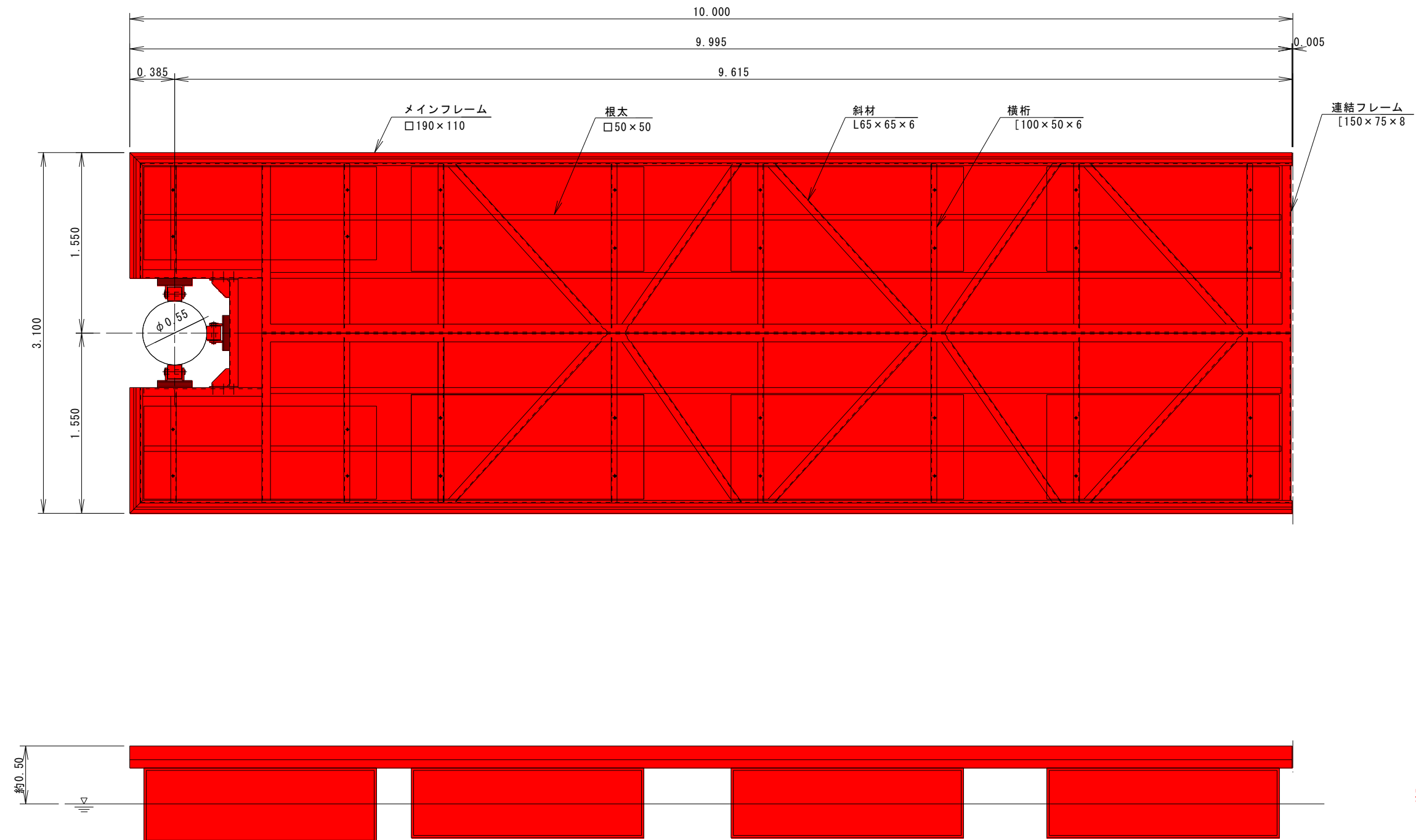
鹿児島県	
工事名	鹿児島港（谷山二区）改修工事（R8-1工区）
港湾名	鹿児島港（谷山二区）
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	主栈橋（中間部）フレーム図 2/3
縮尺	図示（A3印刷時）
図面番号	全 17 葉 第 5 号

※特記事項
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

主栈橋（航路側）フレーム図 3/3

浮栈橋 C3~C1, B1 バース

Sc=1/40



※特記事項
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

実施設計図

(参考図)

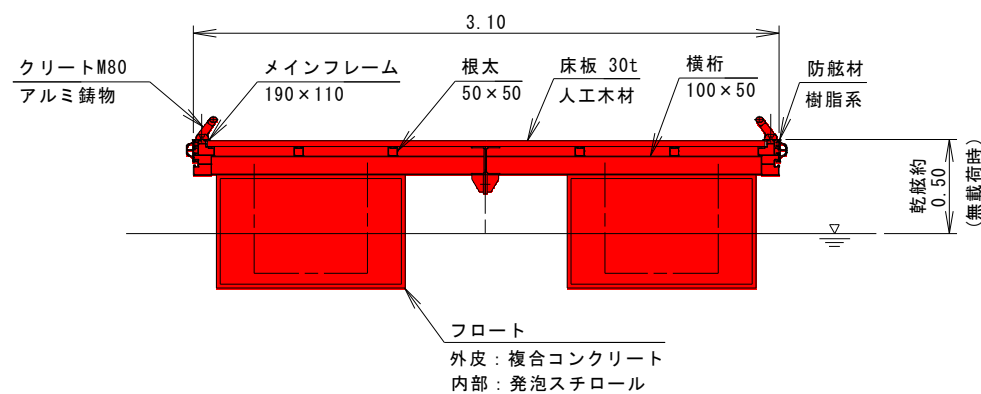
鹿児島県	
工事名	鹿児島港（谷山二区）改修工事（R8-1工区）
港湾名	鹿児島港（谷山二区）
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	主栈橋（航路側）フレーム図 3/3
縮尺	図示（A3印刷時）
図面番号	全 17 葉 第 6 号

主棧橋部材詳細図 1/2

浮棧橋 C3~C1, B1 バース

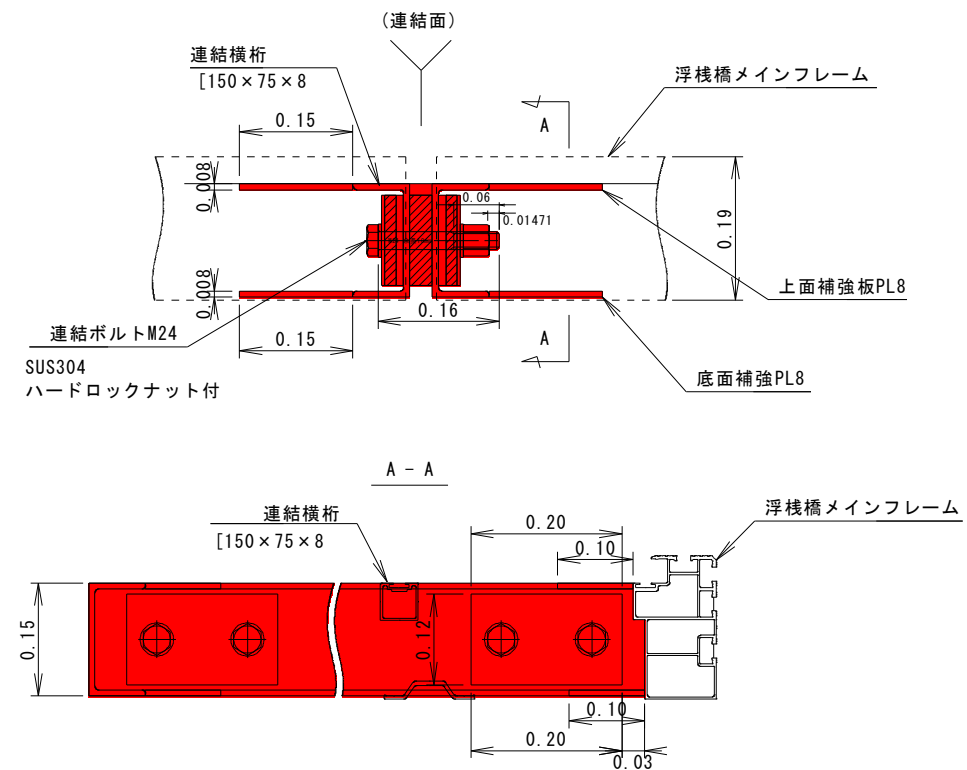
標準断面図 (B1, C1~C3バース)

Sc=1/40



ゴム連結部詳細図

Sc=1/10

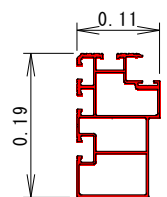


型材断面

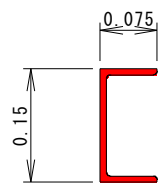
Sc=1/10

材質: アルミ合金

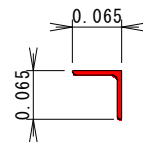
メインフレーム
材質: A6005CS-T5



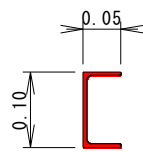
連結フレーム
材質: A6005CS-T5



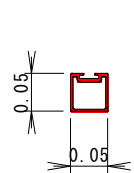
斜材
材質: A6063S-T5



横桁
材質: A6005CS-T5



根太
材質: A6005CS-T5



実施設計図

(参考図)

鹿児島県	
工事名	鹿児島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿児島港(谷山二区)
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	主棧橋部材詳細図 1/2
縮尺	図示 (A3印刷時)
図面番号	全 17 葉 第 7 号

※特記事項
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

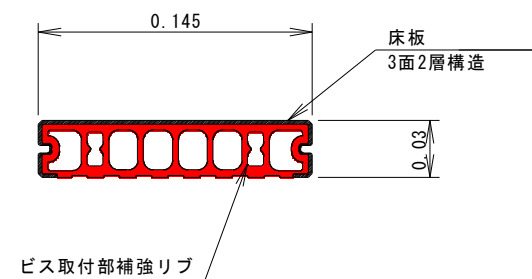
主棧橋部材詳細図 2/2

浮棧橋 C3~C1, B1 バース

床板詳細図

Sc=1/4

床板材質：人工木材(3面2層式デッキ)
(静電気防止対策品)
床板色調：グレー

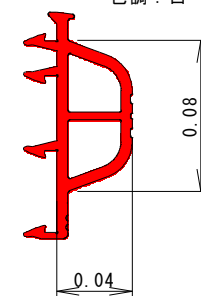


防舷材断面図

Sc=1/4

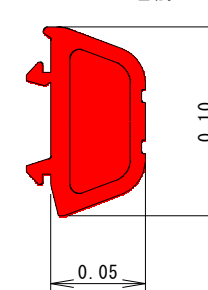
棧橋用

材質：樹脂系
色調：白



アウトースライダー用

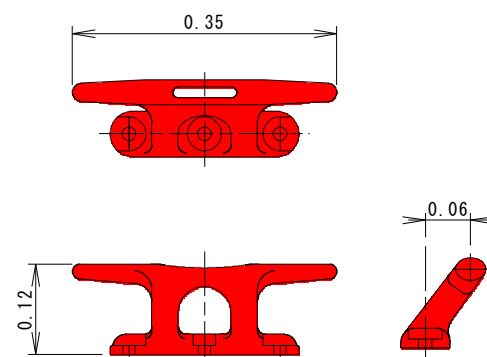
材質：樹脂系
色調：白



クリートM80 (浮棧橋用)

Sc=1/10

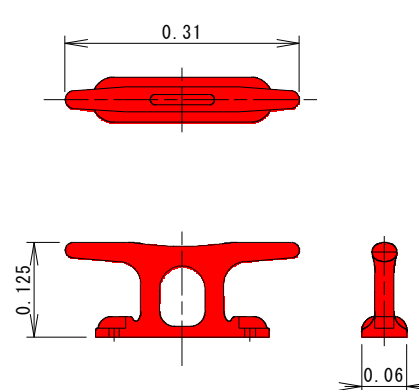
材質：アルミ合金鋳物



クリートM1 (係船ビームA用)

Sc=1/10

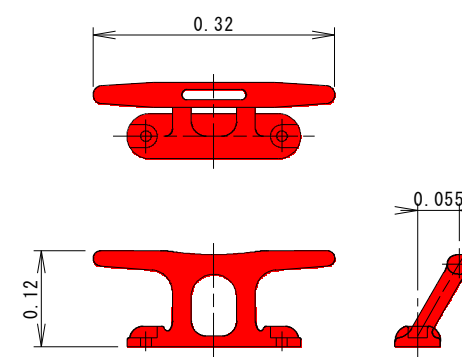
材質：アルミ合金鋳物



クリートM8 (係船ビームB用)

Sc=1/10

材質：アルミ合金鋳物



※特記事項
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

実施設計図
(参考図)

鹿児島県	
工事名	鹿児島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿児島港(谷山二区)
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	主棧橋部材詳細図 2/2 (C3~C1, B1 バース)
縮尺	図示 (A3印刷時)
図面番号	全 17 葉 第 8 号

スライダー詳細図

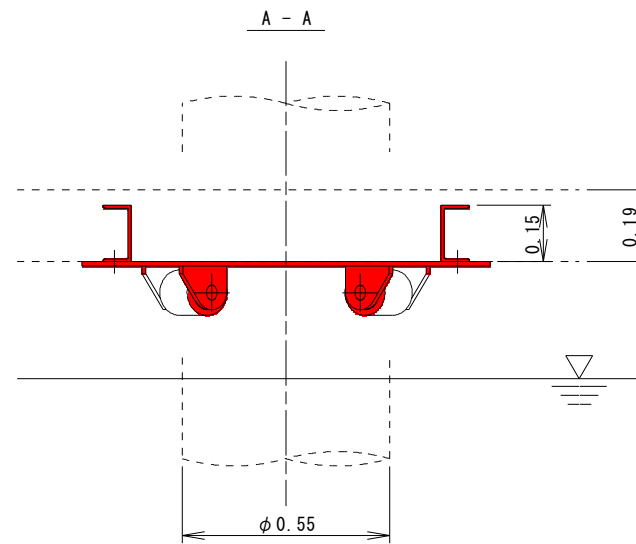
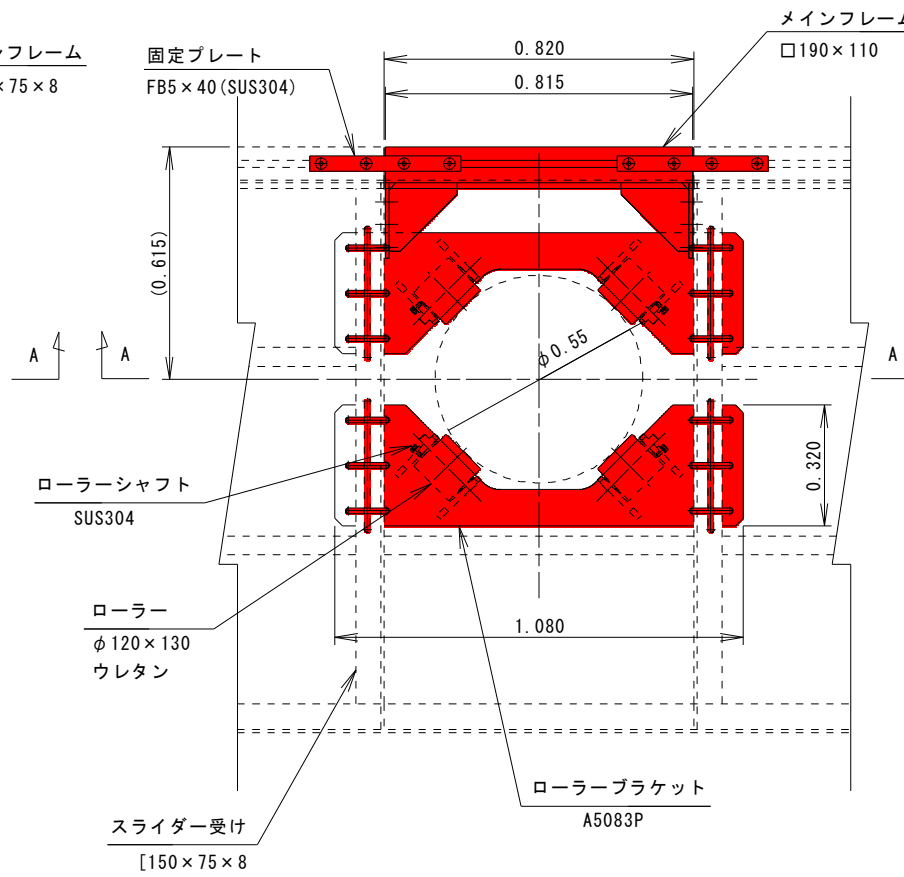
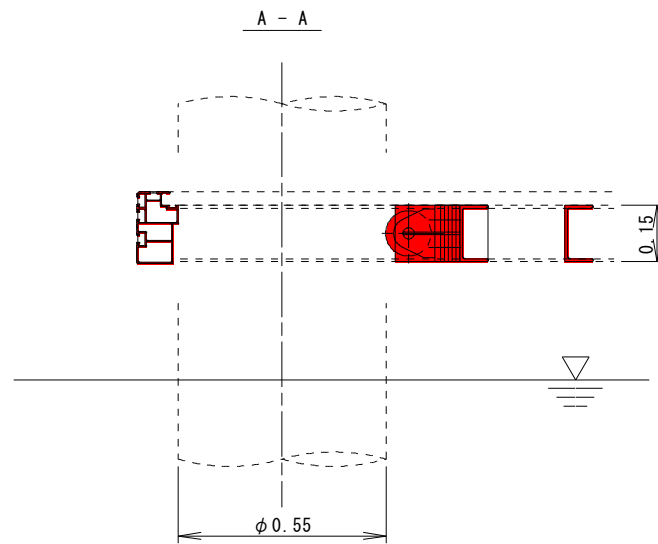
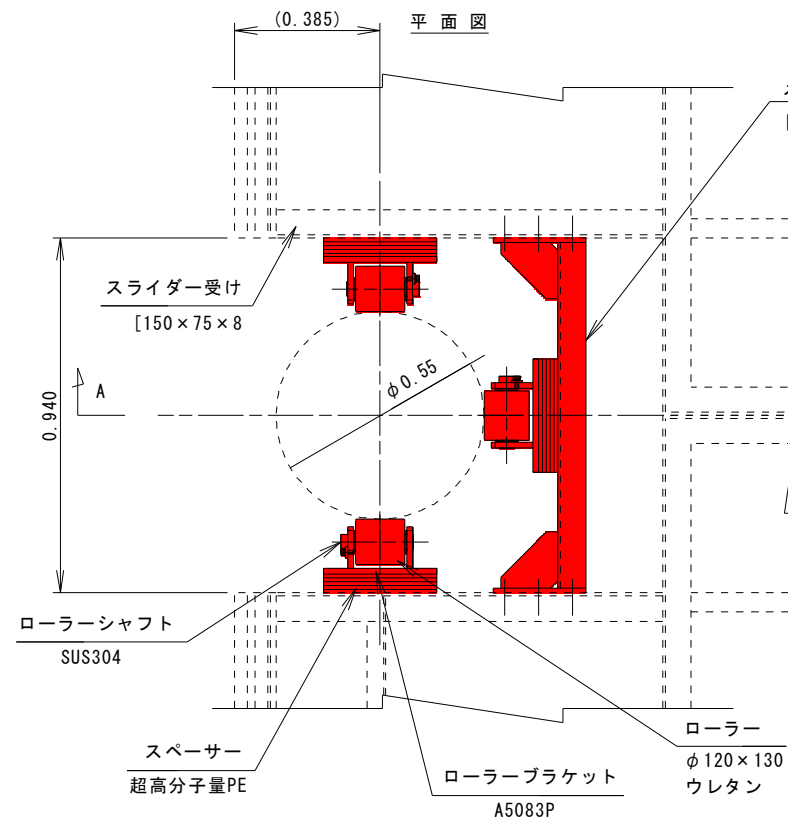
浮棧橋 C3~C1, B1 バース

浮棧橋φ550用中間インナー-slider詳細図

Sc=1/20

B1, C1~C3バース
浮棧橋φ550用先端インナー-slider詳細図

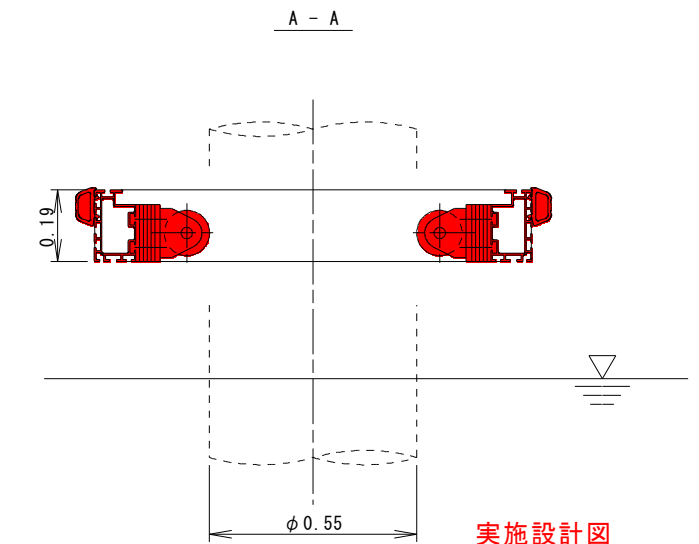
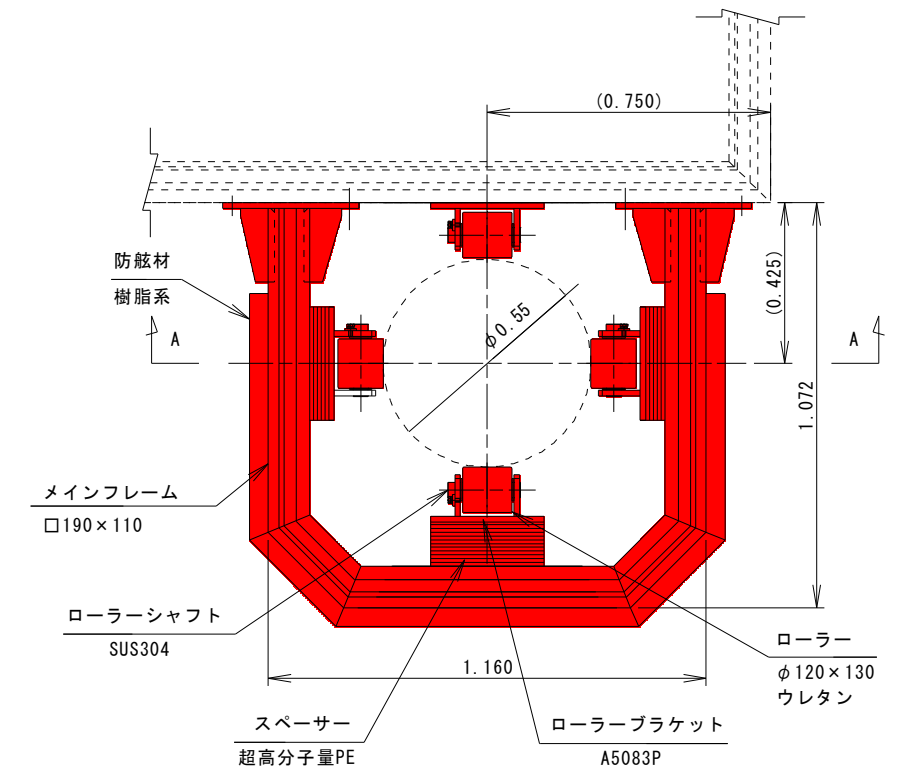
Sc=1/20



B1, C1~C3バース
浮棧橋φ550用アウトースライダー詳細図

Sc=1/20

平面図



実施設計図

(参考図)

鹿児島県	
工事名	鹿児島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿児島港(谷山二区)
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	スライダー詳細図
縮尺	図示(A3印刷時)
図面番号	全 17 葉 第 9 号

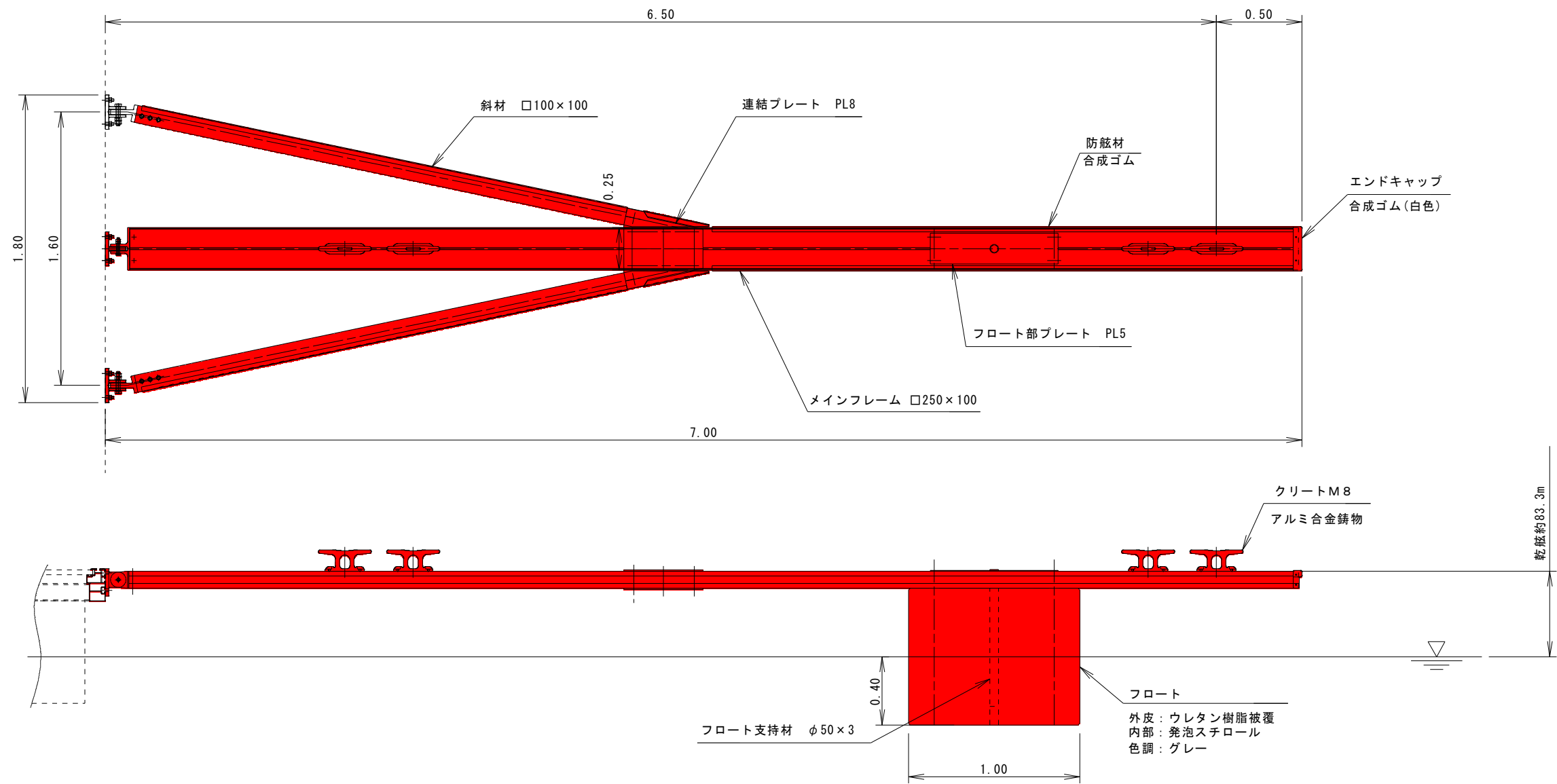
※特記事項
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

係船ビーム詳細図 1/2

浮棧橋 C3~C1, B1 バース

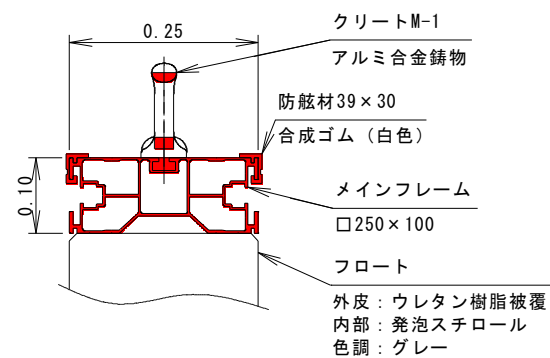
7.0m係船ビームA

Sc=1/30



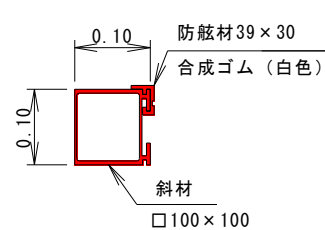
メインフレーム部標準断面図

Sc=1/10



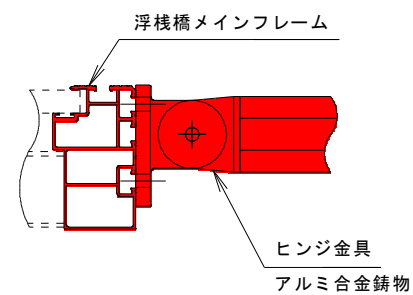
斜材部標準断面図

Sc=1/10



連結部詳細図

Sc=1/10



※特記事項

特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

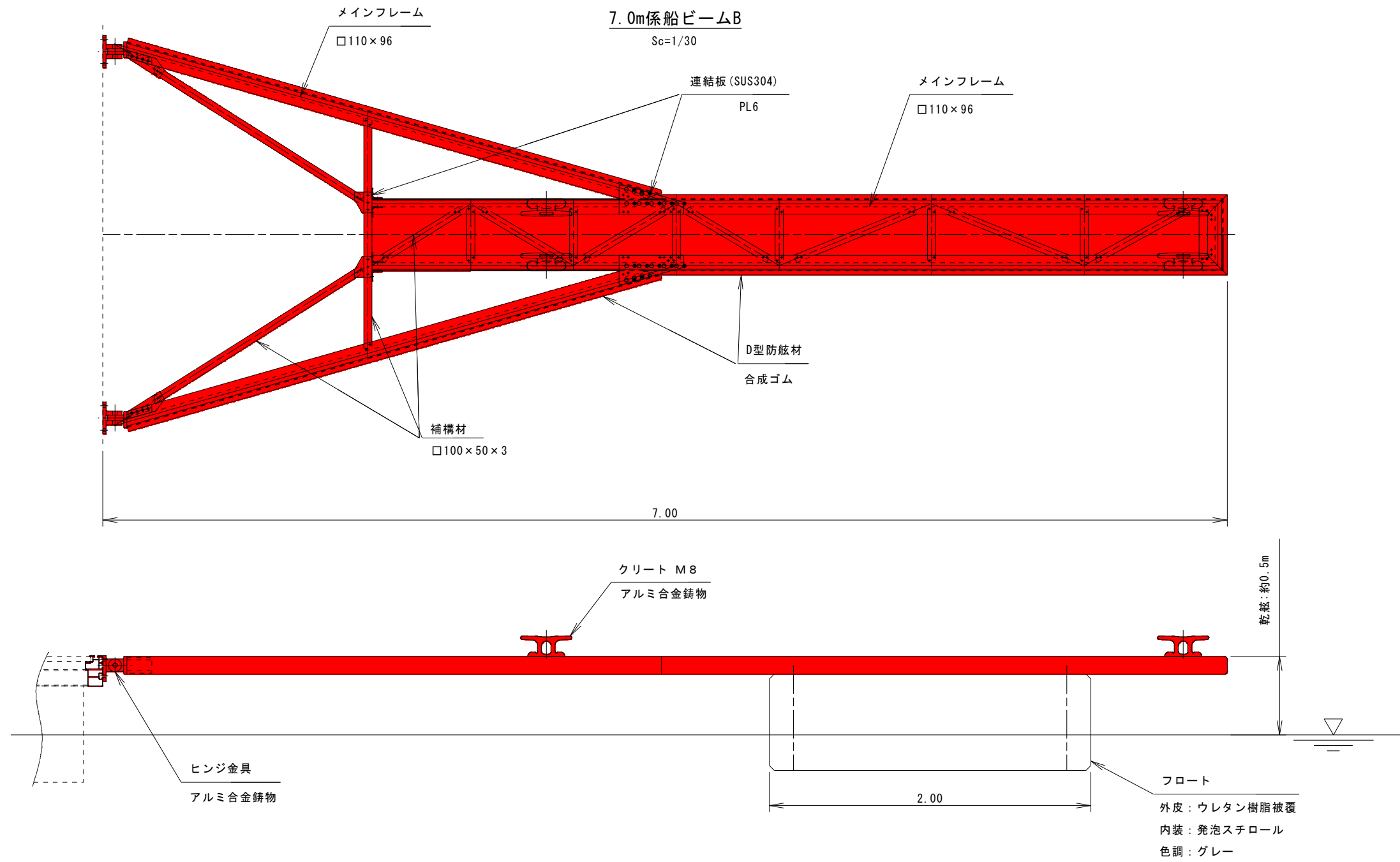
実施設計図

(参考図)

鹿児島県	
工事名	鹿児島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿児島港(谷山二区)
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	係船ビーム詳細図 1/2
縮尺	図示(A3印刷時)
図面番号	全 17 葉 第 10 号

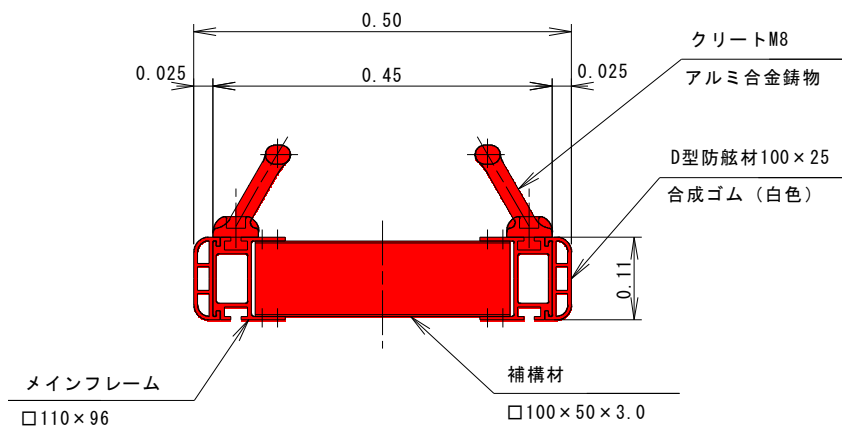
係船ビーム詳細図 2/2

浮棧橋 C3~C1, B1 バース



標準断面図

Sc=1/10

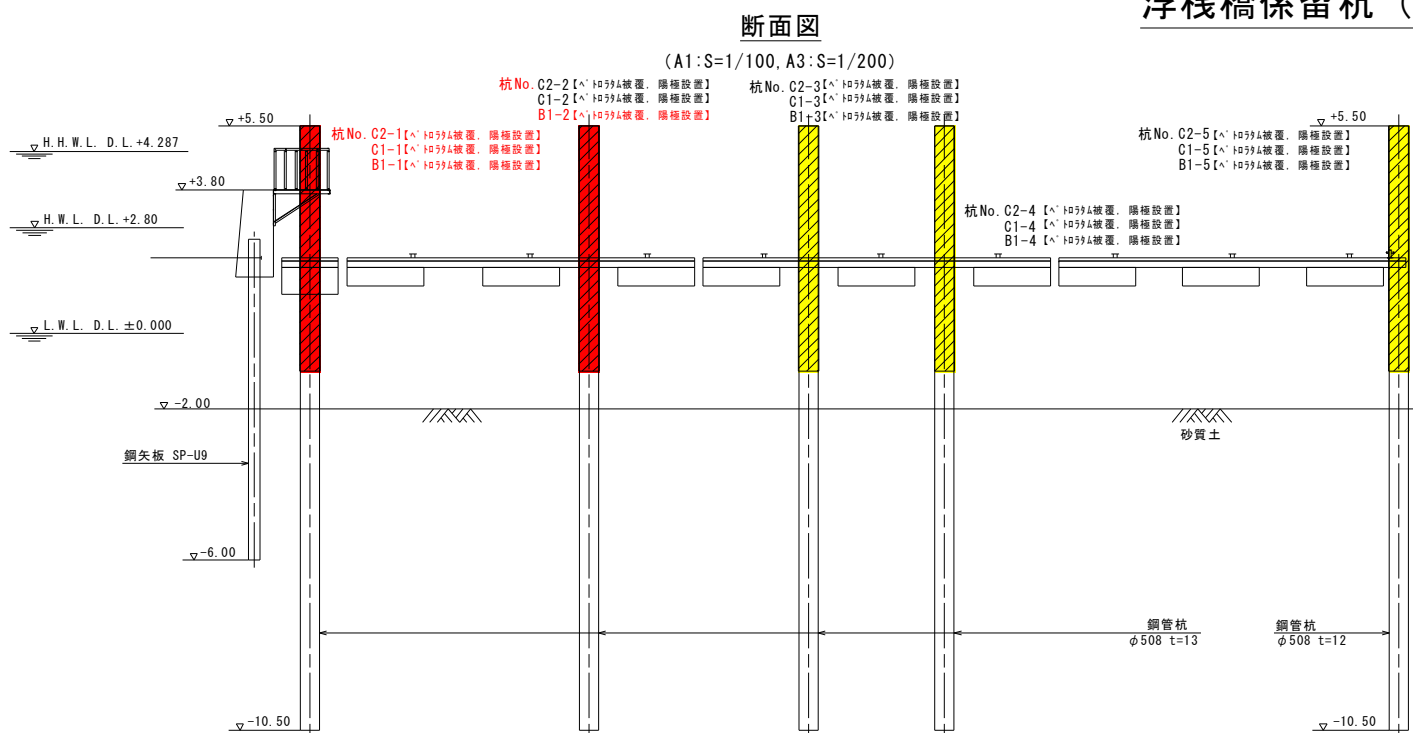


※特記事項 実施設計図
特記無き部材は、全てはアルミニウム合金とする。

(参考図)

鹿児島県	
工事名	鹿児島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿児島港(谷山二区)
工事箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	係船ビーム詳細図 2/2
縮尺	図示(A3印刷時)
図面番号	全 17 葉 第 11 号

浮棧橋係留杭 (φ508) 防食装置図



【数量表 (ペトログラム被覆工)】

足場設置撤去 (鋼管杭) $A=10.4\text{m}^2/\text{本} \times 4\text{本}=41.6\text{m}^2$
 鋼管杭 1本当り $A=0.508\text{m} \times \pi \times (+5.50\text{m} - (-1.00\text{m})) = 10.4\text{m}^2/\text{本}$

かき落とし工 $A=10.4\text{m}^2/\text{本} \times 4\text{本}=41.6\text{m}^2$

被覆防食 (鋼管杭) $A=10.4\text{m}^2/\text{本} \times 4\text{本}=41.6\text{m}^2$

端部処理 (鋼管杭) $L=3.2\text{m}/\text{本} \times 4\text{本}=12.8\text{m}$
 鋼管杭 1本当り $L=0.508\text{m} \times \pi \times 2 (\text{上下}) = 3.2\text{m}/\text{本}$

【数量表 (水中硬化エポキシ樹脂塗布工)】

鋼管杭天板 被覆防食 $A=0.20\text{m}^2/\text{本} \times 4\text{本}=0.8\text{m}^2$
 鋼管杭 1本当り $A=0.508\text{m}^2 \div 4 \times \pi = 0.20\text{m}^2/\text{本}$

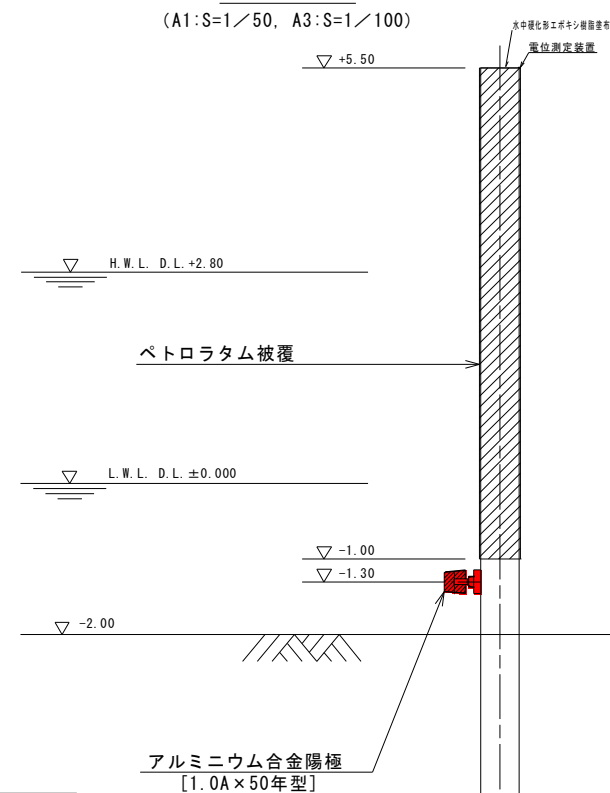
【数量表 (電気防食工)】

取付金具製作・取付 $N=1\text{組}/\text{本} \times 4\text{本}=4\text{組}$

陽極取付 (1.0A×50年型) $N=4\text{個}$

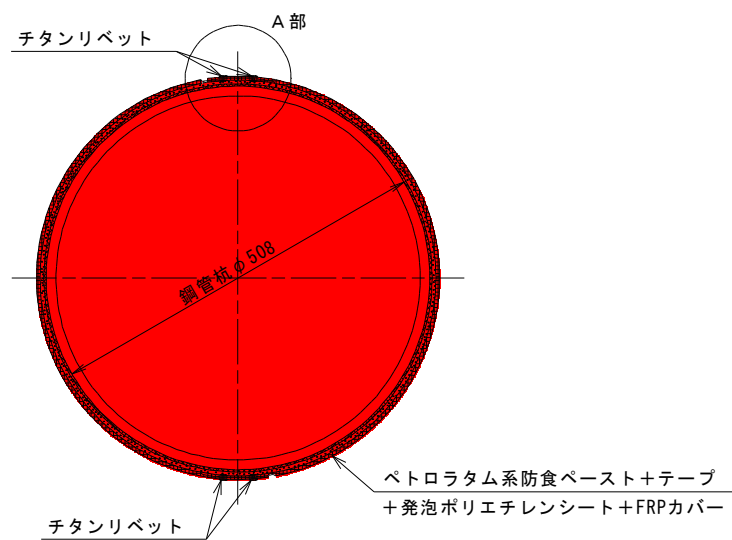
電位測定装置取付工 (簡易型) $N=4\text{個}$

係留杭詳細

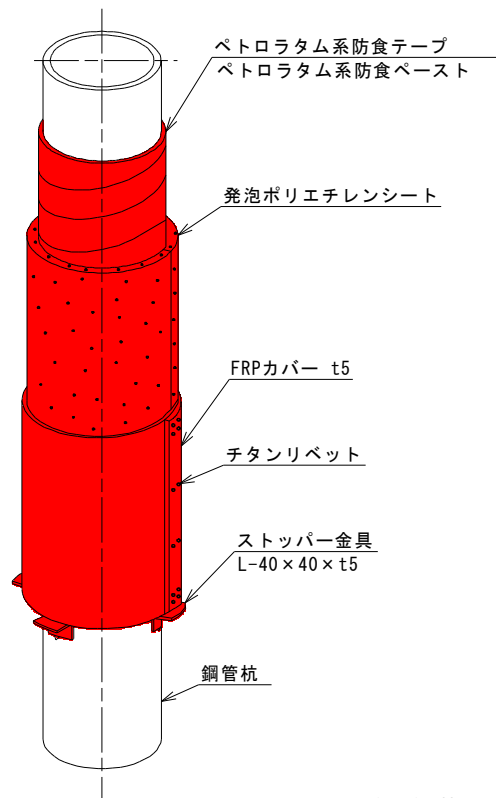


ペトログラム被覆断面図

(A1:S=1/5, A3:S=1/10)

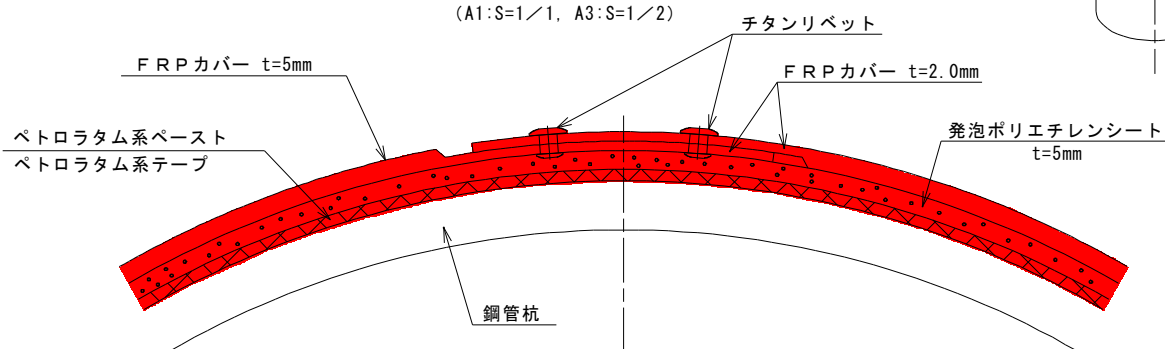


ペトログラム被覆標準図



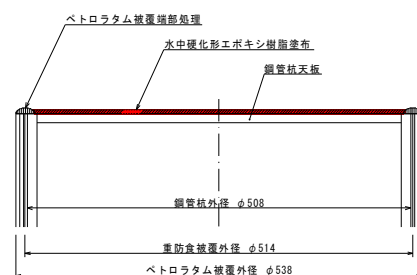
A部詳細

(A1:S=1/1, A3:S=1/2)



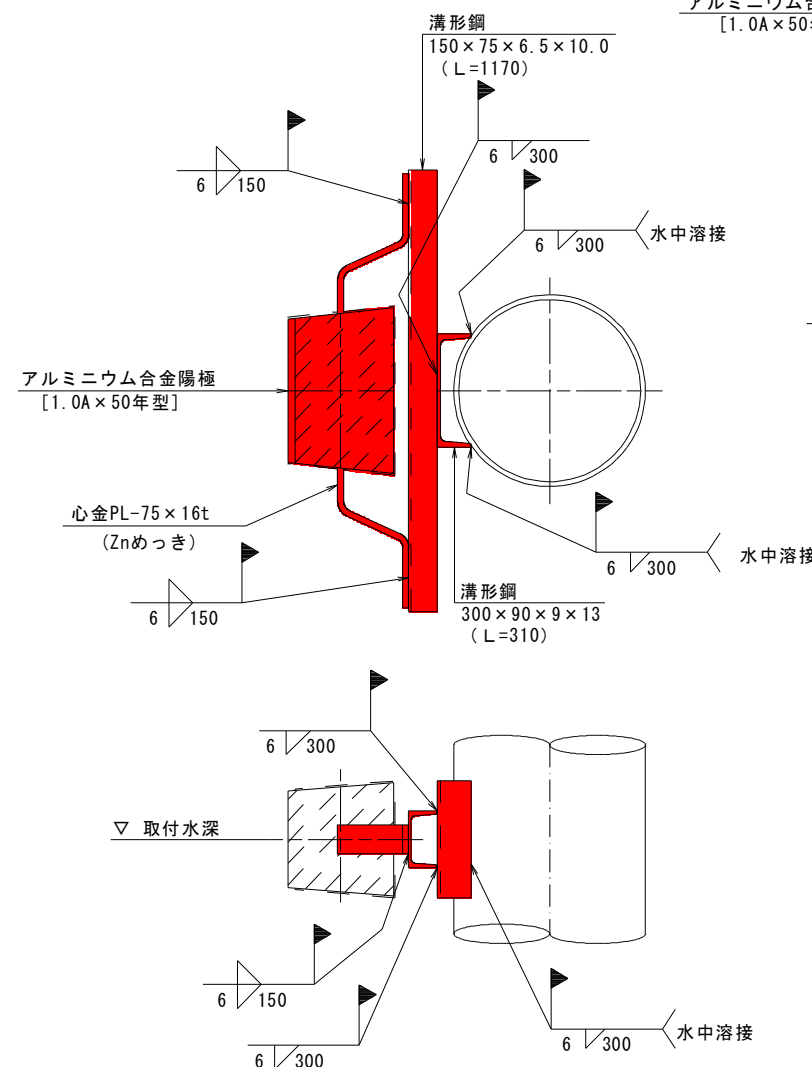
鋼管杭天板 被覆防食

(A1:S=1/2.5, A3:S=1/5)



アルミニウム合金陽極取付図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



実施設計図

(参考図)

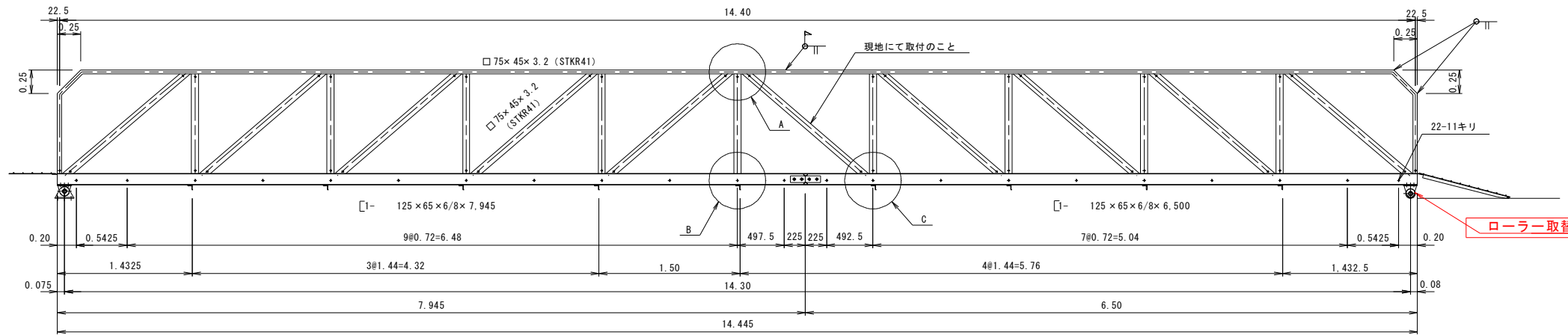
鹿児島県

業務名	鹿児島港 (谷山二区) 改修工事 (R8-1工区)
港湾名	鹿児島港 (谷山二区)
業務箇所	鹿児島市 谷山港一丁目 地内
図面種類	浮棧橋係留杭 (φ508) 防食装置図
縮尺	図示
図面番号	全 17 葉 第 12 号

既設連絡橋改修要領図

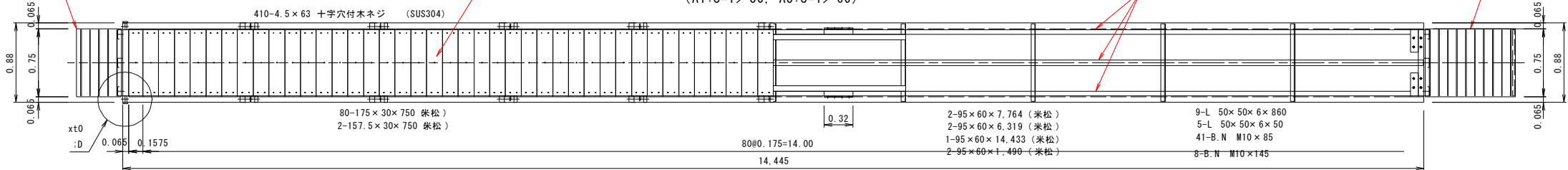
側面図

(A1:S=1/30, A3:S=1/60)



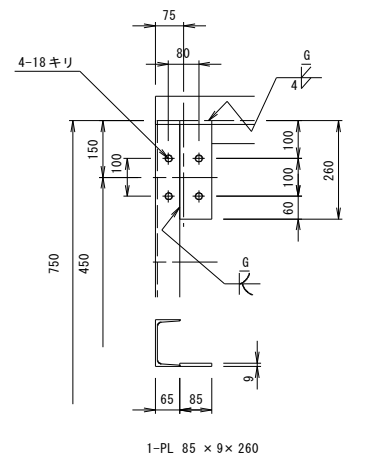
平面図

(A1:S=1/30, A3:S=1/60)



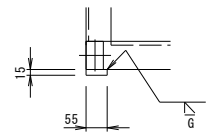
支承金物取付部詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



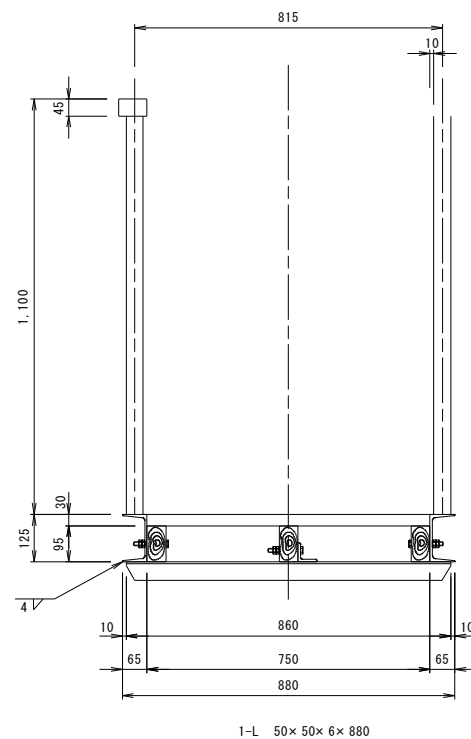
D部詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



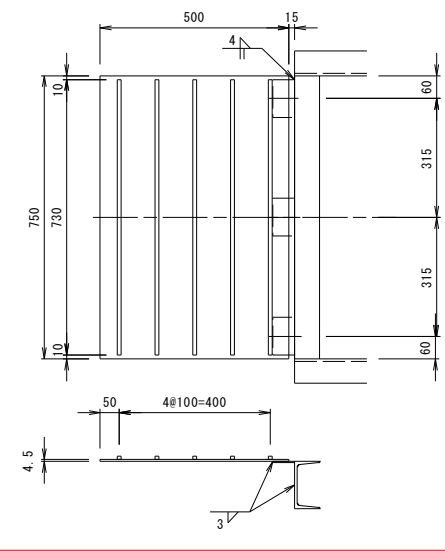
標準断面図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



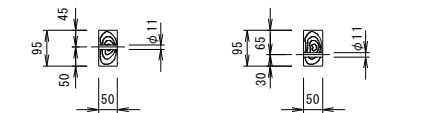
渡橋詳細図(陸側)

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



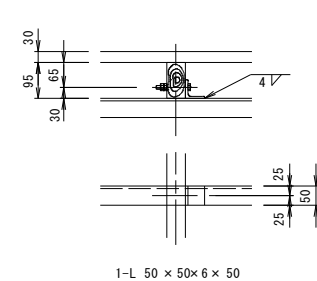
根台詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



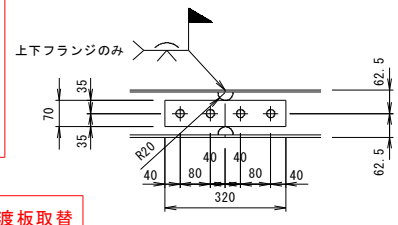
根台取付金物詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



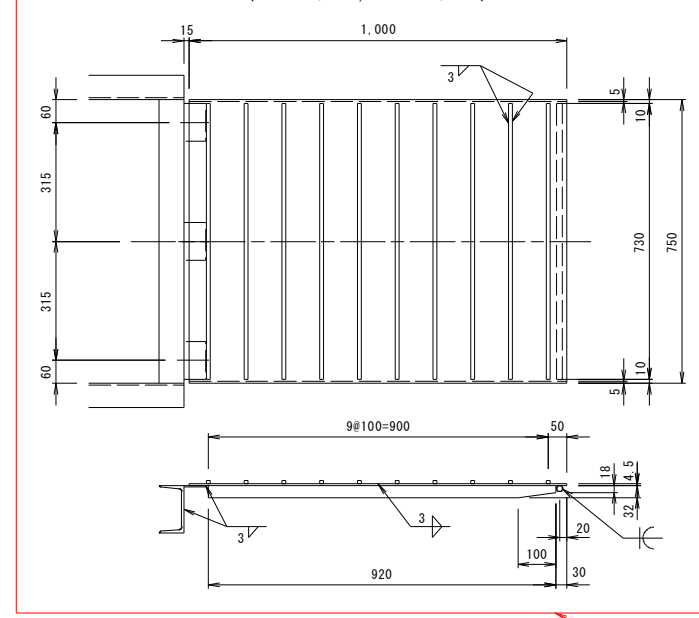
ブロック継手詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



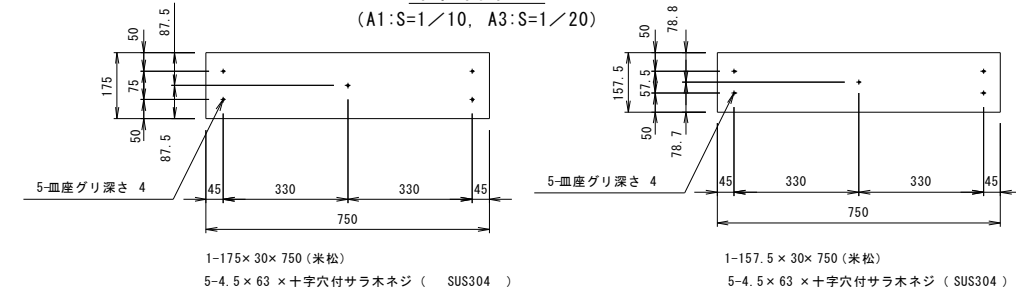
渡橋詳細図(浮棧橋側)

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



床板詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



項目	数量	単位	備考
1 渡橋(鋼材)	1026.3	kg	陸側・浮体側合算
2 渡橋(木材)	294.6	kg	陸側・浮体側合算
3 渡橋(鉄骨+付類)	13.0	kg	陸側・浮体側合算

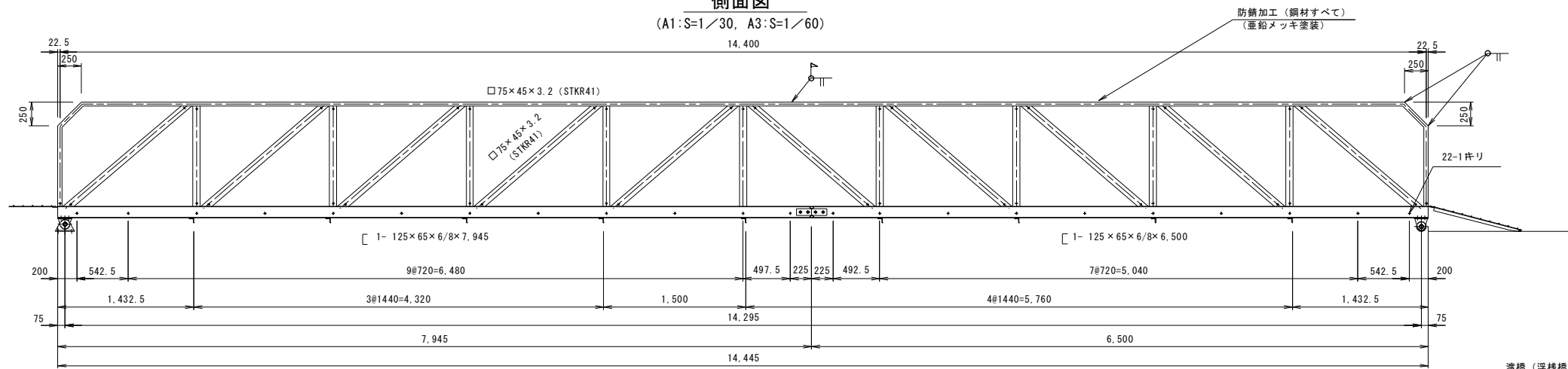
実施設計図

鹿児島県	
工事名	鹿児島港(谷山二区)改修工事(R8-1工区)
港湾名	鹿児島港(谷山二区)
工事箇所	鹿児島港 谷山港一丁目 地内
図面種類	既設連絡橋改修要領図
縮尺	図示
図面番号	全 17 葉 第 13 号

連絡橋および踊り場（改修後）構造図

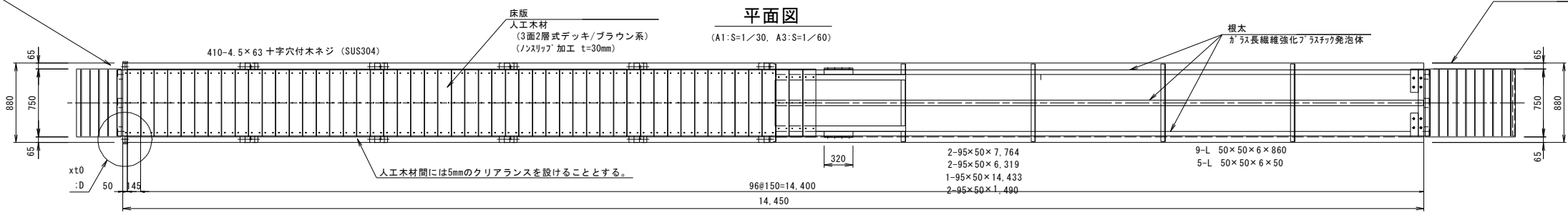
側面図

(A1:S=1/30, A3:S=1/60)



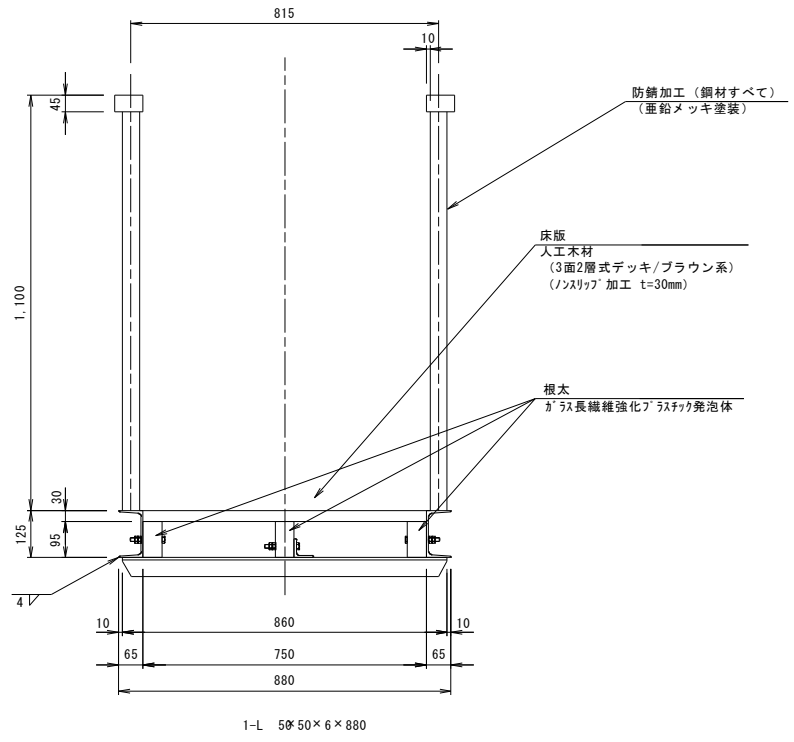
平面図

(A1:S=1/30, A3:S=1/60)



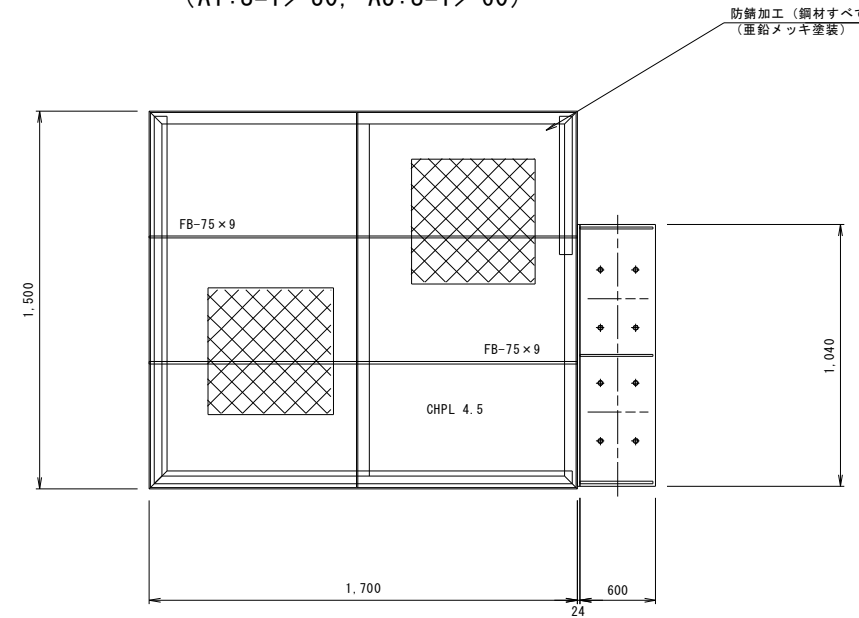
標準断面図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



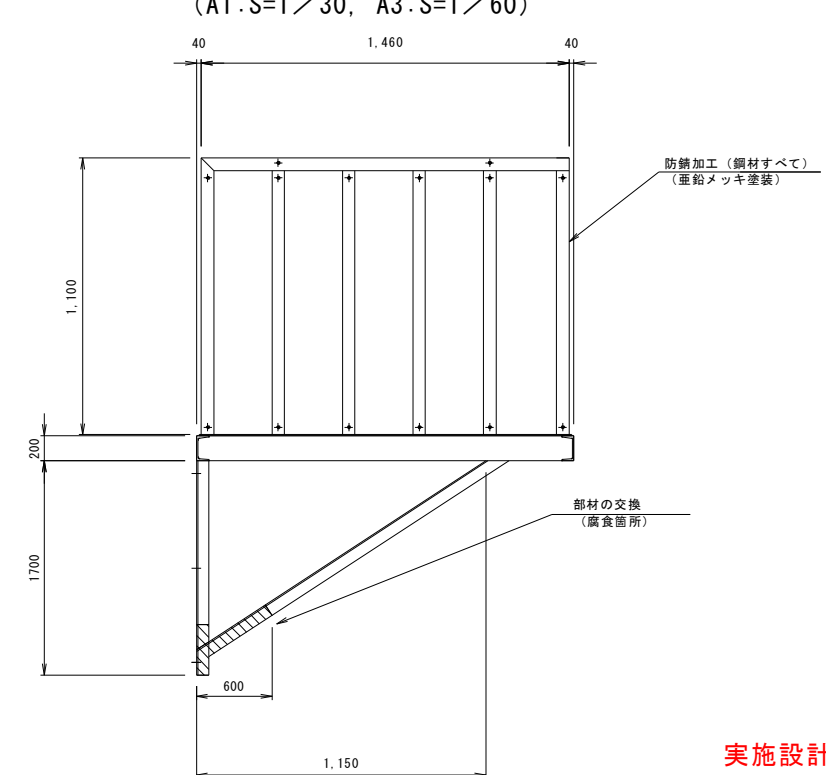
張出部平面図

(A1:S=1/30, A3:S=1/60)



張出部側面図

(A1:S=1/30, A3:S=1/60)



連絡橋修繕内容		
修繕部位	数量	修繕内容
1 連絡橋一時撤去	1 式	連絡橋を撤去後、工場持ち帰り
2 渡橋(浮橋側)取替	1 式	連絡橋を撤去後、工場持ち帰り
3 渡橋(陸側)取替	1 式	連絡橋を撤去後、工場持ち帰り
4 浮橋側ローラー取替	2 個	MC-FD φ100×160
5 根太取替 L=14.4m	3 本	ガラス繊維強化プラスチック発泡体
6 床板取替 (0.75m×14.45m)	2 個	人工木材
7 連絡橋再塗装	41.8㎡	防錆加工 (重鉛メッキ塗装)
8 踊り場再設置	1 式	踊り場再設置
9 取付ボルト	8 本	六角ボルト (M16×65L)・SUS304

総括数量表-連絡橋							
品名	材質	種別	寸法	数量	単位	重量	積算
床板	人工木材		130×145×750	96	3.3 kg/m ²	2.48	238.1
床板	人工木材		130×50×750	1	1.1 kg/m	0.83	0.8
根太	ガラス繊維強化プラスチック発泡体		50×95×7794	2	500 kg/m ²	18.4	36.8
根太	ガラス繊維強化プラスチック発泡体		50×95×6319	2	500 kg/m ²	15.0	30.0
根太	ガラス繊維強化プラスチック発泡体		50×95×14433	1	500 kg/m ²	34.3	41.1
根太	ガラス繊維強化プラスチック発泡体		50×95×14930	2	500 kg/m ²	3.5	7.0
継手	SUS304		100×100×t4	6		0.350	2.1
ローラー支承	MC-FD		φ100 (φ40) ×160	2		0.830	1.7
						小計	257.6 kg

工種	実地調整	防錆塗装仕様				回数	塗膜厚 (μm)	塗膜種類
		塗布量 (g/m ²)	ハケ	スプレー	ドライ			
1	実地調整	手工具処理3種 ※1 150 8501 352 2 防錆 プラスチックによる ディスクサンダー、ディスクペーパー等の動力工具および スクレーパー、ワイヤーブラシ等による ワイヤーブラシ、研削布						
2	工 場	250	300	325	40	1	30分以上	
3	工 場	250	300	325	40	1		
合 計		500	600	650	80	2		

- 注記)
- 1) 図中の寸法は mm単位である。
 - 2) 特記外の材質は全てSS400とする。
 - 3) 鋼材 (SUS304以外) は全て防錆加工を施すものとする。また、ボルト、ナットはSUS304を使用すること。
 - 4) 木材は全て人工木材に取替を行うものとする。
 - 5) 既設連絡橋の陸側及び浮橋側床板は新規製作し取替を行う。
 - 6) 既設連絡橋の陸側及び浮橋側床板は新規製作し取替を行う。
 - 7) 既設連絡橋の浮橋側支承ローラーは新規製作し取替を行う。

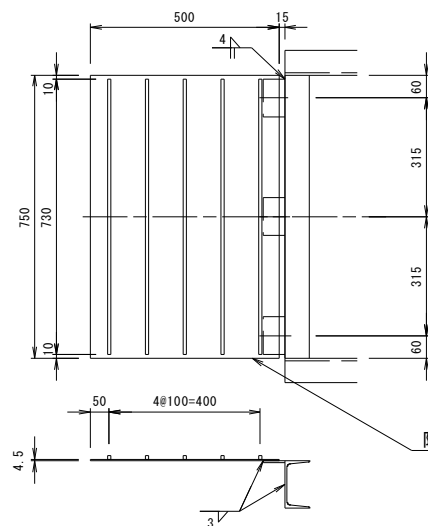
実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	鹿児島港 (谷山二区) 改修工事 (R8-1工区)
港 湾 名	鹿児島港 (谷山二区)
工 事 箇 所	鹿児島港 谷山港一丁目 地内
図 面 種 類	連絡橋および踊り場 (改修後) 構造図
縮 尺	図示
図 面 番 号	全 17 葉 第 15 号

連絡橋改修 部材詳細図

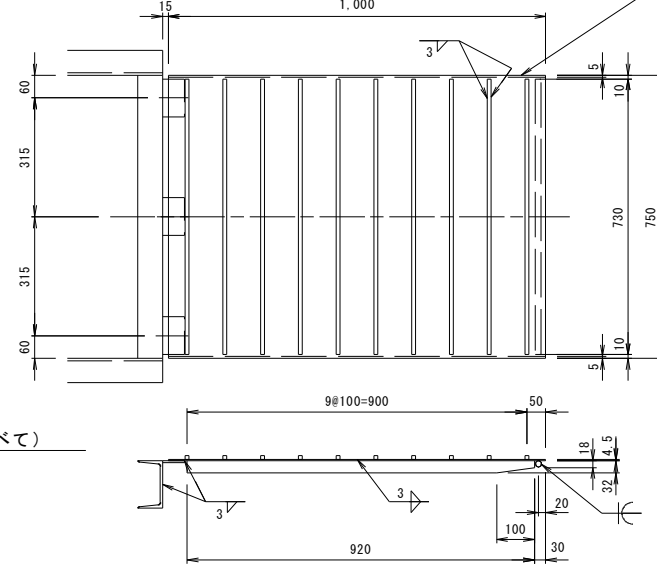
渡橋詳細図 (陸側)

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



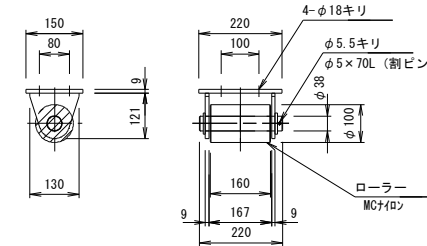
渡橋詳細図 (浮棧橋側)

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



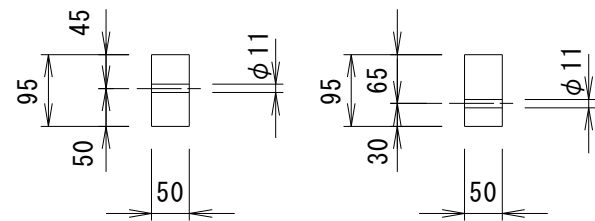
支承ローラー詳細図

(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



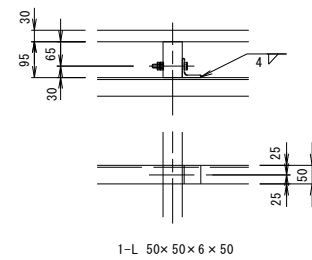
根太詳細図

材質: ガラス繊維強化プラスチック発泡体
(A1:S=1/5, A3:S=1/10)



根太取付金物詳細図

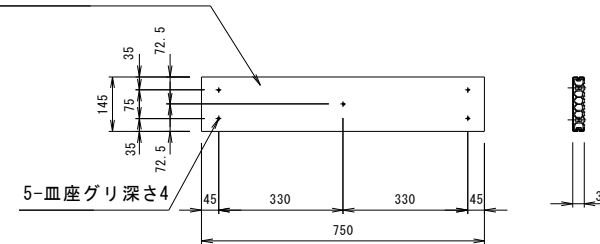
(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



床板詳細図

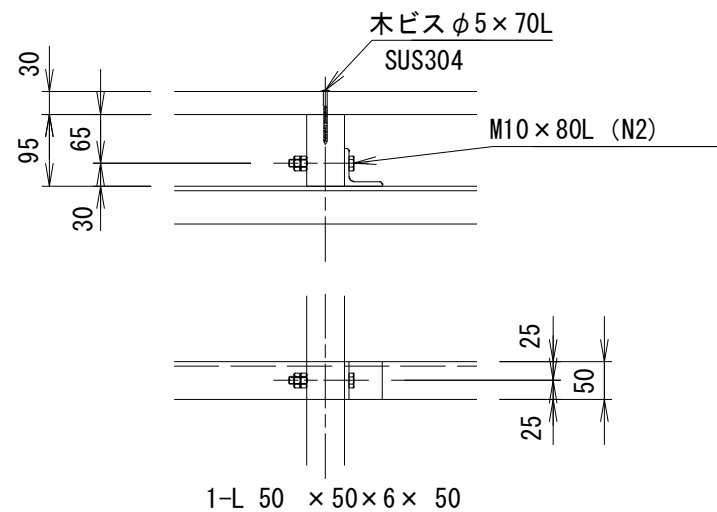
材質: 人工木材 (3面2層式デッキ)

デッキ面ノンスリップ加工 (A1:S=1/10, A3:S=1/20)



根太取付詳細図

材質: ガラス繊維強化プラスチック発泡体
(A1:S=1/5, A3:S=1/10)



工 場	防 錆 塗 装 仕 様	防 錆 塗 装 仕 様			塗 装 回 数	塗 装 間 隔	
		塗 布 量 (g/m ²)	塗 層 (μm)	回 数			
1	現場調整	250	300	315	40	1	30分以上
2	ローバル	250	300	315	40	1	30分以上
3	ローバルアルファ	250	300	315	40	1	30分以上
	合 計	500	600	650	80	2	

※スプレーによる塗装を想定している。

実施設計図

鹿 児 島 県

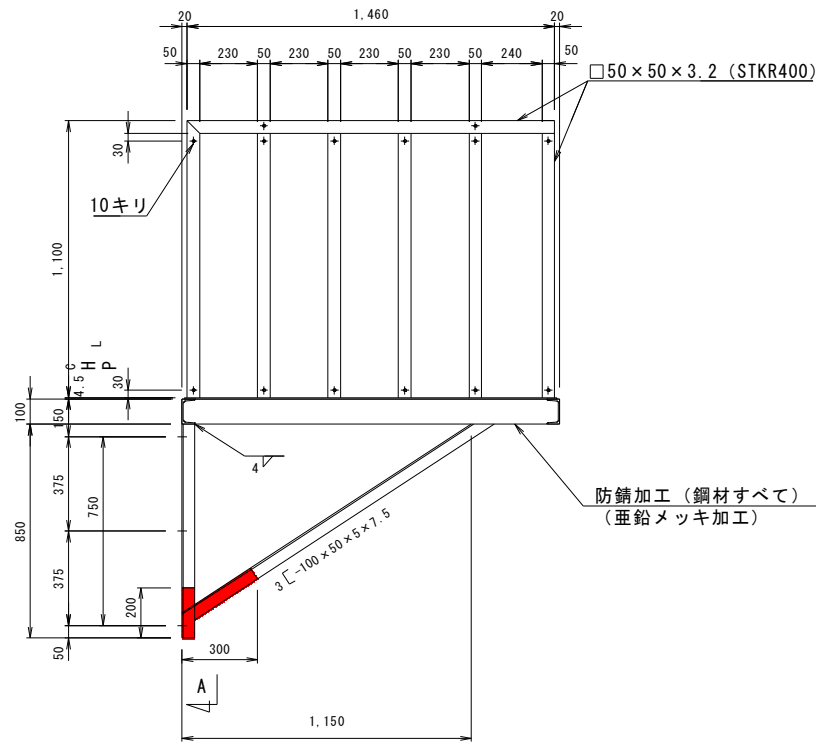
工 事 名	鹿児島港 (谷山二区) 改修工事 (R8-1工区)
港 湾 名	鹿児島港 (谷山二区)
工 事 箇 所	鹿児島港 谷山港一丁目 地内
図 面 種 類	連絡橋改修 部材詳細図
縮 尺	図示
図 面 番 号	全 17 葉 第 16 号

注記)

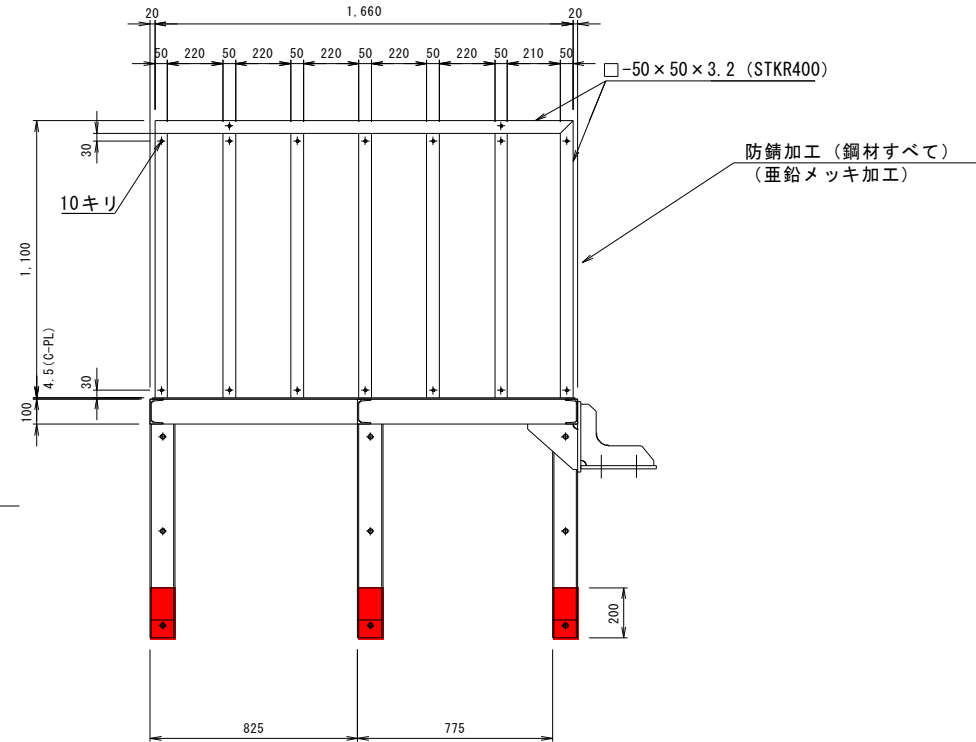
- 1) 図中の寸法は mm単位である。
- 2) 特記外の材質は全てSS400とする。
- 3) 鋼材 (SUS304以外) は全て防錆加工を施すものとする。また、ボルト、ナットはSUS304を使用すること。
- 4) 木材は全て人工木材に取替を行うものとする。
- 5) 既設連絡橋踏み場は取り外し、工場にて改修、塗装 (下地処理を含む) を行う。
- 6) 既設連絡橋の陸側及び棧橋側渡板は新規製作を行い取替を行う。
- 7) 既設連絡橋の棧橋側支承ローラーは新規製作し取替を行う。

踊り場改修 部材詳細図

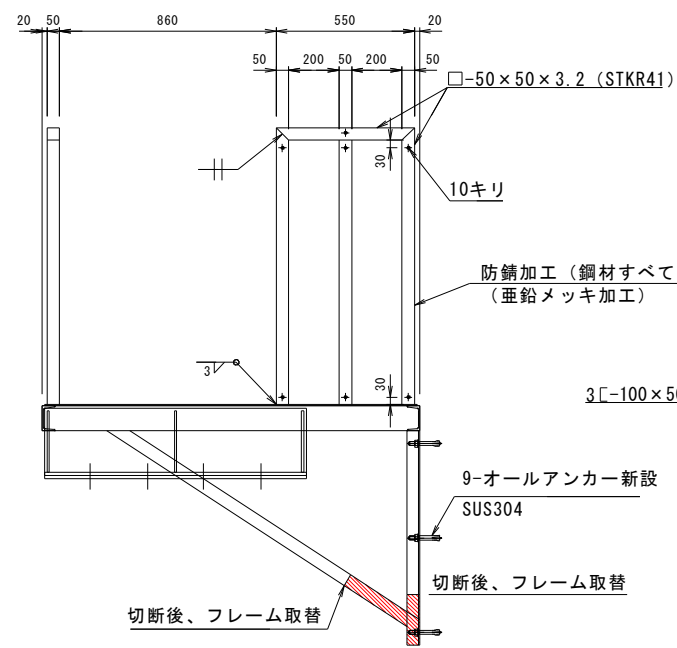
踊り場側面図
(A1:S=1/15, A3:S=1/30)



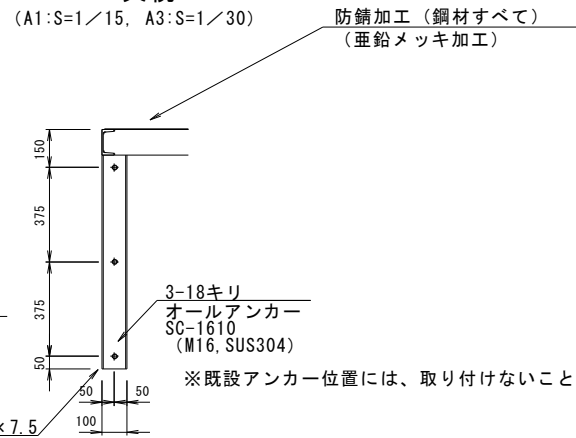
踊り場側面図
(A1:S=1/15, A3:S=1/30)



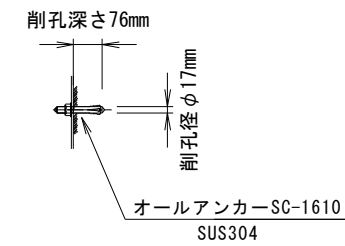
踊り場側面図
(A1:S=1/15, A3:S=1/30)



A 矢視



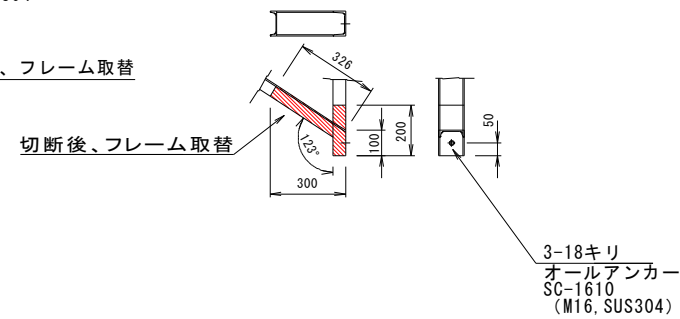
オールアンカー詳細図
(A1:S=1/10, A3:S=1/20)



【数量表】

コンクリート削孔工 N=9孔/基×2基=18孔
オールアンカー N=18本

架台下部取替部材詳細
(A1:S=1/15, A3:S=1/30)



工 場	防 錆 塗 装 仕 様	防 錆 塗 装 仕 様		塗 装 厚 (μm)	面 積	塗 装 回 数	塗 装 時 間 (h)
		ハケ	スプレー				
1	素地調整	250	300	325	40	1	30分以上
2	ローバル	250	300	325	40	1	30分以上
3	ローバルアルファ	250	300	325	40	1	30分以上
	合 計	500	600	650	80	2	

※スプレーによる塗装を想定している。

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	鹿児島港 (谷山二区) 改修工事 (R8-1工区)
港 湾 名	鹿児島港 (谷山二区)
工 事 箇 所	鹿児島港 谷山港一丁目 地内
図 面 種 類	踊り場改修 部材詳細図
縮 尺	図示
図 面 番 号	全 17 葉 第 17 号

注記)

- 1) 図中の寸法は mm 単位である。
- 2) 事前に調査して腐食している箇所は鋼板等にて補強すること。
- 3) 既設連絡橋踊り場は取り外し、工場にて修繕、塗装 (下地処理含む) を行う。
- 4) 特記外の既設鋼材はSS400とする。
- 5) 踊り場全体に防錆加工を施すものとする。